

【 北星しんきんからのお知らせ 】

平成 23 年 4 月

北星信用金庫

カーボン・オフセット通帳および

カラーユニバーサルデザイン通帳の取り扱いについて

北星信用金庫（理事長 山川 武志）は平成 23 年度 創立 60 周年を迎えるにあたり環境保全活動の一環としてカーボン・オフセット通帳を導入致します。また本文内のページにおいては、色覚障害者（色の識別が困難な人）向けにカラーユニバーサルデザインを採用致します。

4 月より総合口座通帳（一般・キャラクター）2 種、普通預金通帳 1 種を導入し、現在の在庫が無くなり次第、各店頭窓口にて順次使用開始致します。

《カーボン・オフセット》

今回のプロジェクトは、通帳の製造過程で発生する CO₂ の発生に見合う相当量を下川町、足寄町、滝上町、美幌町の 4 町で構成する『森林バイオマス吸収量活用促進協議会』が保有する、下川町有林などで行なった間伐事業から生ずる森林吸収クレジットでオフセット（相殺）するものです。「CO₂ のオフセット量は年間の使用量 5 万冊で約 3 トンに相当します。

《カラーユニバーサルデザイン》

暮らしの多くの場面で色が使われている今日、色は様々な情報や意味をもつなど重要な役割を持っています。しかし、様々な場所で使いづらさ、読みづらさ、情報を正確に受け取れないなど、暮らしに不便さを感じている人は少なくありません。

今回導入の預金通帳（NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）認証）においては、「より人にやさしいデザイン（情報発信）」をするためにさまざまな利用者（色覚の多様性）に配慮した色の使い方をするものづくりであり、「より多くの人にとってやさしい社会づくり」を目指す取り組みのひとつです。

※今回導入のカーボン・オフセット通帳、カラーユニバーサルデザイン通帳の同時導入は北海道金融機関初の取り組みとなります。また、地元を利用したカーボン・オフセット事業は全国初となります（平成 23 年 4 月現在）。

守らなければならない
環境がある

残さなければならない
緑がある

地球にやさしい、人にやさしい
金庫でいたい

カーボンオフセットとは

製品製造時に排出されるCO₂を、排出削減活動（森林保護・風力発電・水力発電など）によって
相殺し、CO₂排出量を実質ゼロに近づけるという仕組みのことです。

